

南部小文化祭 ～一人ひとりが堂々と表現～

十一月二日(水)、今年度の「南部小文化祭」を行いました。子どもたちは、これまでの練習や準備として取り組んできたことを、「南部ぶち合わせ太鼓」を皮切りに、各学年が精一杯の表現で発揮することができました。

当日は、たくさんのお保護者や地域のみなさま、第二幼稚園とみなみ保育所の年長児のみなさんからおいでいただき、子どもたちの励みとなりました。ありがとうございました。



↑ 1年生の劇「たぬきの糸車」

↓ 2年生の踊り「元気でいこう！」



↑ 3年生の劇「三年とうげ」

4年生の合唱「歌のにじ」

↓ 「WAになっておどろう」



↑ 5年生の踊り「南部から元気を！」

↓ 6年生の劇「まぬけ村物語」



「寒南ガッツ」から車いすをいただきました！

■11月15日(火)、「寒南野球スポーツ少年団寒南ガッツ」の遠藤監督・高橋保護者会長が学校を訪れ、車いす1台を寄贈してくださいました■「寒南ガッツ」は今年、昭和57年にスポーツ少年団として結成以来、創立30周年を迎えました■そこで、「30周年記念事業」の1つとして、約10年間にわたって集めてきたプルタブやアルミ缶の収益金をもとに車いすを購入し、本校に寄贈してくださいました■学校では、今子どもたちに身につけなければならない大切な教育の一つである福祉教育の体験学習等に大いに活用させていただきます■たいへんありがとうございました



「南部っ子」秋の俳句より

【一年】

まっかなは しおりになって 本のなか
はっぱちり まわりの虫は ふゆじたく
もみじふる ひるのまっかな ながれぼし
こんにちは おちばのかけから どんぐりが
いねかりだ とびたつイナゴ またらいねん
なし・りんご かき・ラフランス あきだらけ
あきのよる たべてもたべても おなかすく
かせふいて すずきがみんな おどりだす

【二年】

こうようは 秋しか見れない たからもの
朝休み どんぐりとって こまになる
山やまの 赤いはっぱが ゆれるかな
秋風に ふかれておちば おどりだす
さつまいも 落ちばでやいて ほっかほか
赤トンボ すいすいとぶよ 秋の空

【三年】

秋風に ゆれてはっぱが まい落ちる
ランドセル 秋と同じく まっかだな
さつまいも 半分食べて スタンプに
もみじの葉 夕日をあびて もえている
ハロウィンだ おぼけになったよ かぼちゃ君
まつたけは すごくおいしい でも高い
あきあかね つかまえられるす くやしいな
秋の森 きれいな色に ころもがえ
かきなって 今か今かと まっている
紅葉の 葉っぱが落ちる ひらひらと

【四年】

色かわる 夕やけ空に とぶとんぼ
冬にむけ 落ち葉がパラパラ じゅんび中
落ち葉たち シャカシャカわらう 風がふく
たんぼぼが なぜかさいてる おかしいぞ
秋の山 おいしいものが いっぱいだ
白鳥が 秋とともに やってきた
帰り道 案内係は 赤とんぼ
赤黄色 きれいに色つき もみじまう

【五年】

こうようは あかときいろの パラダイス
鱗雲 おすなおすなと 急ぎ足
秋の葉が 風がふくたび ダンスする
寒い夜 鍋をかこみ 家族かな
秋の虫 せなかの羽で こあいさつ
秋の夜に まぶしく輝く 星座かな
秋の山 まっ赤にそまって 照れている
どんぐりが 季節数えた 帰り道

【六年】

夕日とき 黄色い田んぼ 目に光る
庭を見て もみじのじゅうたん できあがり
手ぶくろの サイス合わせる 冬近し
西の空 きれいな夕焼け 柿の色
寒くなり 食べてゴロゴロ 太るもこ
さんま食べ ほくのおなかは まんまるだ
起きた後 暖ほうつけて しのぐ朝
落ち葉けり 黄色のじゅうたん ひらり舞う

かんとう かずき

みやばやし あおい

こでら みはや

きむら あずみ

しだ あいり

いしやまじょうたろう

こんの ほのか

あべ ゆいか

佐竹 勇真

阿部 来紀

石川 綾菜

阿部 一勢

酒井 陽汰

佐藤 瑠亮

鈴木 輝太

武田 結葵

渋谷 敬彦

大泉 理聖

鈴木 優惟

高取 穂乃加

高橋 幹陽

高橋 明日香

富樫 美涼

樋口 果涼

高橋 藍人

土田 朝陽

武田 まなか

斎藤 南海

古城 樹己

原田 雅也

相座 七海

羽柴 暉畝

氏家 一真

高橋 俊輔

石川 陽依

大川 佑奈

佐藤 舞香

佐藤 悠樹

板野 杏南

黒田 紗彩

氏家 美玲

佐藤 悠樹

板野 杏南

阿部 菜々穂

柴田 陽平

鈴木 裕也

佐藤 舞香

大谷 友絵

小林 彩乃

増川 悠月

阿部 悠月

鈴木 尚

羽柴 菜